

「自衛隊をリアルに体感！」  
～自衛隊受験者らが北演を研修～

自衛隊札幌地方協力本部は、令和5年8月21日（月）及び23日（水）の両日、北海道大演習場において実施中の「令和5年度北部方面隊総合戦闘力演習」に、札幌地本管内の受験予定者らを対象に部隊研修を行いました。

参加した学生らは、北大演島松地区において第3施設団及び第1高射特科団を、千歳地区において第10即応機動連隊の作戦準備状況を研修しました。各部隊においては指揮所及び訓練状況を研修した後、装備品等の見学を行うとともに、昼食においては、現職自衛官と同じコンバットレーションを喫食しました。また、23日には戦闘服を試着したうえで演習場での研修に参加しました。

全ての研修を通して参加者らは自衛隊の仕事を体感し、職業の有為な選択肢としての意識を高めました。

これまでテレビや雑誌、あるいは広報官の説明やDVDの映像などを通じて、自衛隊のイメージをそれぞれ描いていた学生らは、研修でのさまざまな体験を通じてより具体的な職業として、自衛隊の理解を深めている様子でした。

研修に参加した学生からは、「自衛隊の生の訓練状況を見て、装備に触れ、よりリアルにイメージすることが出来た」「演習場内で見た隊員のキビキビとした動作に、職業としての自衛官に魅力を感じた」などの声を聞けました。

札幌地本は、今後も各種イベントを活用して自衛隊の多様な実状と魅力を積極的に発信していきます。



指揮所内における指揮幕僚活動の研修  
(左 第3施設団副団長)



指揮所地域における部隊の展開状況を説明



コンバットレーションの体験喫食



第1高射特科団長(中央)自ら説明



研修参加者も戦闘服を着用し  
第10即応機動連隊の作戦準備を研修



部隊の宿泊状況を研修